

目標達成計画

目標達成計画は、事故評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん挙げ過ぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所も現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	併設である小規模多機能型居宅介護事業との共通の基本理念はあるが、グループホームの主旨や特性を踏まえた理念にはなっていない。	グループホームの主旨や特性を踏まえた個別の事業理念を作り、職員全体で共有し、実践につなげていく。	職員全体で、個別の事業理念を検討、作成する。作成後、実践に向けての取り組みを職員会議にて話し合い、実践していく。	1年
2	23	利用者の好み等に基づくケア実践のための、利用者本人の生活歴や嗜好等に関する客観的な情報が少ない。	より利用者の好み等に基づくケア実践のため、生活歴や嗜好等、客観的な情報の収集に努める。	センター方式の、「私の生活史シート」「私の暮らし方シート」を活用し、ご家族様にも協力を依頼し、客観的な情報の収集に努める。	1年
3	49	重度化、終末期については、ご家族の意向を確認しながら、可能な対応を行うこととしているが、マニュアルは整備できていない。	事業所の対応方針を定めるとともに、マニュアルを整備し、職員全体で共有する。	重度化、終末期の対応についての方針を検討し、マニュアルを作成する。	1年
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。